

「飲んだら乗るな！乗るなら飲むな！」

「子ども 110 番の家」 対応要領

1 子どもが「助けて！」とやって来る

子どもが助けを求めてきたら、まず、子どもを家の中に入れて保護してください。

2 まず、自分が落ち着く

話を聞く側があわてたり、興奮したりしないよう、まず自分が落ち着いて子どもの話を聞いてあげましょう。

3 子どもを落ち着かせる

「もう大丈夫」などと優しく声をかけて子どもを落ち着かせてあげることが大切です。また、子どもにケガがないか気を配りましょう。



▲ 優しく状況を聞く「子ども 110 番の家」の人



▲ 「子ども 110 番の家」の人からの通報で警察官が不審者を発見



▲ ナイフを持ち歩いていた不審者を逮捕

4 子どもから話や状況を聞く

落ち着いた雰囲気をつくり、「聞き取りメモ」（※下記参照）を利用して話を聞きましょう。

5 警察へ 110 番通報をする

「子ども 110 番の家」であることを告げ、あなたの住所、氏名や店名等を伝えてから、子どもから聞き取った内容を順序よく話してください。

6 警察官が到着するまで待つ

警察官が到着するまで、子どものそばについてあげ、警察官が到着したら、事情を説明してください。

聞き取りメモ

話を聞く時のポイント！

- ◎子どもにわかりやすいようゆっくりと話す。
- ◎分からないことを何度も尋ねたり、無理に聞かない。

① 何があったの？

「連れ去られそうになった」、「体を触られた」、「つきまとわれた」など

② いつ？、どこで？

- ・今から何分前くらいか？
- ・どこであったか？ など

③ 不審者の特徴は？

- ・男性か女性か？ ・人数は？
- ・服装は？ ・メガネや帽子など特徴は？
- ・徒歩か乗り物に乗っていたか？
- ・車の場合は色は？ ・ナンバーは？
- ・どちらの方向に行ったか？ など

④ あなたの事を教えて

- ・住所 ・氏名 ・学年 ・学校名
- ・お家の電話番号 ・保護者の名前 など

も
す

